



オリーブ栽培者のための情報誌

九州オリーブ通信

Vol.17

トピックス

今、オリーブの大鉢栽培が熱い!

安定して実が生る、メリットだらけの栽培方法

今号のトピックスは、「今、オリーブの大鉢栽培が熱い!」。「植えた後に水はけが悪いことがわかって樹が枯れた」「樹が大きくなるばかりでほとんど実が生らない」「除草が大変で畑に行くのが億劫になった」「台風で樹が倒れ根が切れて枯れた」という声をよく耳にします。そんなリスクを最小化するお勧めの栽培方法を紹介します。まだまだ他にもメリットがありますよ (P.2~3を参照)!



▲オリーブ栽培の本場トスカーナより直輸入した、耐候性抜群の直径約80cm、高さ約65cm、容量240ℓの大鉢で栽培中

“大鉢で手軽に育てる”。もう一

排水が悪い土地でも、重粘土質の土壌でも、肥料大鉢栽培で、もっと簡便に、枯れるリスクを抑えて、

大鉢栽培のメリット

1. 毎年コンスタントに結実…地植えに比べて隔年結果の傾向が弱い
2. 病虫害被害が減少…枯死のリスク、時間、労力、コストが減る。特に深刻なオリーブアナアキゾウムシ幼虫の食害や、土壌由来(通気性・排水性が悪い)の枯死や病気が激減する
3. 土壌改良が不要…時間、労力、コストが節約できる
4. 除草作業が大幅に減少…時間、労力、コストが減る。鉢内の雑草と、鉢に被さるほど高く伸びた鉢の周りの草だけを除去すればOK
5. 農作業が楽…屈まなくてよいので、除草、施肥、水やり、オリーブアナアキゾウムシ幼虫除去の際の腰や足の負担が大幅に減る
6. 強風の影響が小さい…地植えの樹のように倒木したり根が切れて枯れたりせず、鉢ごと倒れるので起こすだけで済む(枝が多少折れる程度)
7. 樹の移動が可能…業者に頼まずとも、2人でハンドリフトを使い車両への積込も可能

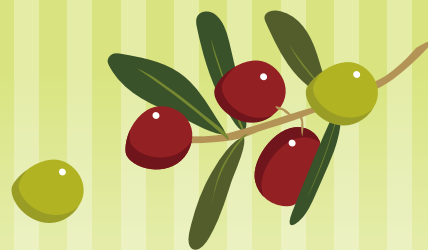


▲アスファルトやコンクリートに鉢を直接置いても大丈夫なので、テラスやバルコニーはもちろん、玄関先、駐車場の空きスペース、倉庫の周囲などでも栽培できます



▲左よりオリーブのつぼみ、花、果実。毎年安定して結実します。2025年、弊協会では1鉢当たり平均約6kgの実を収穫しました

つのオリーブ栽培の形です



分が極少の砂地でも、アスファルトでも栽培可能！
CONSTANTにオリーブの実を生らせてみませんか。



▲鉢の下に平台車を置けば簡単に移動可



▲鉢穴から土中に出た根が過湿で腐るため、下が土なら碎石やブロックを敷きます

大鉢栽培について

—用意するもの—

- ・大鉢…直径80cm、高さ65cm程度。更に大きくても可。1個
 - ・オリーブ苗木…大小・年生不問。1本
 - ・鉢底石…砂利やボラ土でも可。いずれも鉢穴より大きいもの。25ℓ
 - ・バーク堆肥…完熟のもの。100ℓ
 - ・ボラ土…細粒か微粒。100ℓ
 - ・赤玉土…大粒。100ℓ
 - ・苦土石灰…100ml
 - ・BMようりん…100ml
 - ・腐植酸…100ml
 - ・支柱…直径2cm程度、長さ150cm以上。1本
 - ・結束ゴム…多少の伸縮性があるもの。30cm×3本
 - ・水…バケツ1杯
- ※上記は直径80cm、高さ65cm程度の大鉢1個当たりの目安量。
大鉢、結束ゴムは特価で販売中 ⇒ <https://olive-japan.shop/>

—植え方—

1. 鉢底石を鉢底に厚さ5cm、まんべんなく敷きつめる
2. バーク堆肥⇒ボラ土(細粒か微粒)⇒赤玉土の順番でそれぞれ厚さ10cm鉢内に入れる。この時、1種類の資材を入れ終わったら必ずしっかりと全体を押し固めてから次の資材を投入する
3. 苦土石灰100mlを鉢内にまんべんなくふりかける
4. 上記「2」を繰り返す。但し、苗木を植えるべき高さ(苗木の幹と根の境界が鉢の上端から10cm下)まで資材を投入したら、鉢の中央付近に支柱を突き刺し、鉢の中央に苗木を直立している状態で置き、苗の上中下3カ所をゴムで支柱と結束する。
5. BMようりん100mlと腐植酸100mlを鉢内にまんべんなくふりかける
6. 資材が鉢の上端から5cm下にくるまで、上記「2」の作業を続ける
7. 約10ℓの水を根元周辺にゆっくりとかける

—植えた後—

- ・水やり…真夏で3日に1回、真冬で10日に1回程度。降水量によって回数減少。井戸水、川・用水路の水などが使えるとベター
 - ・栽培管理…左のページに記したとおり、地植えに比べて楽。剪定の基本は地植えと同様だがコンパクトな樹形を推奨。土壌施肥量は地植えより少なくする。被害が目立てば病虫害防除を行う。
- ※施肥量などご質問は無料メール相談へ ⇒ support@kyushu-olive.or.jp

大鉢栽培で

自家製オリーブオイル作りませんか

—自家製オリーブオイルの長所—

1. 安心・安全…自分で育てた実を自分で搾るから心配無用
 2. 鮮度が抜群…風味が良く、酸化が進まず、栄養が損なわれない
 3. 特別感・満足感がある…料理の楽しさがアップ。ギフトにも最適
- ★少量の実でも搾れる搾油機ならではの自家製オリーブオイル。
搾油機などのお問合せは弊協会まで。support@kyushu-olive.or.jp



Italian olives in Japan
イタリア産オリーブ in 日本

福岡県糸島市

- 栽培者: 株式会社 多久
- 植樹時期: 2021年他

オリーブ栽培を始めたきっかけは、もともとオリーブオイルを料理などによく使っていたためオリーブに興味があったことと、食糧不足に備えて農業全般に興味があったためです。植樹して5年が経過しましたが、今年植えた樹も合わせると700本程度を栽培しています。将来の目標はもちろん出来るだけ多くの実を生らせることが一番ですが、それだけではありません。ここ糸島にもっとオリーブ農家が増えて、オリーブの一大産地として有名になることを夢見ています。



▲忙しい仕事の合間をぬって圃場に通い、樹の状態を確認しています



▲屋敷の庭では地植えオリーブに加えて、今年から鉢栽培も開始!

静岡県掛川市

- 栽培者: 杉山 博志
- 植樹時期: 2018年

オリーブ栽培を始めた頃はコツが分かりませんでしたが、梨やみかんの栽培に通じるところが見えてきて、剪定などの通年管理に関しては理解できるようになりました。



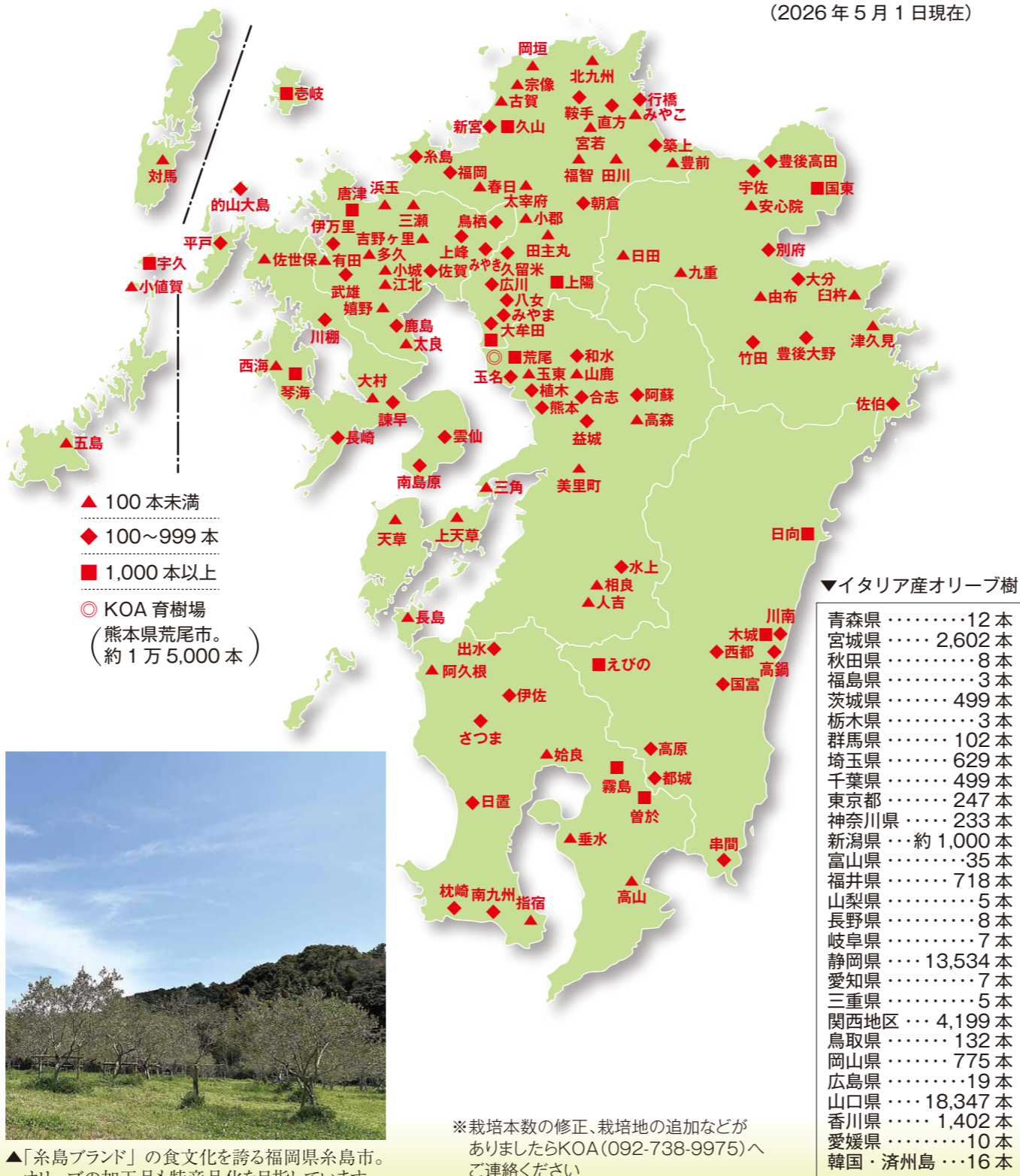
▲現在、100本ほどのオリーブ樹を他の作物と混植して管理しています



▲知り合いがオリーブを植えていたので私も植樹

イタリア産オリーブ 九州栽培マップ

(2026年5月1日現在)



▲「糸島ブランド」の食文化を誇る福岡県糸島市。オリーブの加工品も特産品化を目指しています



▲これから収穫量が増えていくので、売り方を覚えないといけません

静岡県掛川市

- 栽培者: 青木 英幸
- 植樹時期: 2020年

イチジクとオリーブで農業をしており、オリーブ栽培は非常に難しいと感じていましたが、少しずつ技術が身につけてきたと思えます。順調に実が生るようになってきました。



▲掛川市の事業に参加して定植しました。現在は25本のオリーブを管理しています



▲オリーブ立枯病で2本の樹が枯れてしまいましたが、対処方法がわかりました

お知らせ

物価高の今こそ、高品質なオイルを値下げします

オリーブオイル愛用者支援企画。提携農園より直輸入だから実現!



オイルについて

- ★弊協会の提携農園、イタリアのレ・フォンティ社から直輸入したエクストラバージンオリーブオイル。トスカーナ産らしいフレッシュな香りとスパイシーな味わいが魅力
 - ★地元'Olio Romolino'オイルコンテスト農園部門で複数回の1位受賞をはじめ上位入賞常連のオリーブオイルです
- ※全て税込金額

ご注文はこちらから
<https://olive-japan.shop/>



インスタグラムも
ご覧ください



お知らせ

今年もやります。大好評の「お中元」セール!

受付:2026年6月15日~8月12日。詳細:<https://olive-japan.shop/>

A.国産-イタリアオイルセット



B.国産オイルセット



C.国産オイル



D.イタリアオイルセット



E.イタリアオイル



F.イタリアオイル



G.オリーブ化粧品2点セット



H.オリーブ化粧品4点セット



※全て税込金額。オイルの送料は別途。同一配送先で税別1万円以上お買い上げで送料無料。化粧品は送料無料



KOAが取り扱うイタリア産オリーブ苗木のメリット

本場の品種の潜在能力と、15年以上の日本での栽培実績が融合

世界中で愛用されている高品質でバラエティ豊かなイタリア産のオリーブオイル。そのオイルを生み出す本場の優秀な品種。数ある品種の中から、KOAが持つ15年以上の日本各地の情報を基に、優れた栽培実績を示している品種を厳選しています。

育成指導から実の買い取りまで、KOAの苗木は会員サポート付き

栽培指導で実がなるまでフォロー。実が採れたら、ご希望の量を KOAグループが相場価格で買い取ります。加工料のみでご自身の実をオリーブオイルや塩水漬けにすることもでき、栽培者様の様々なニーズに応えます。お問合せ先⇒support@kyushu-olive.or.jp

KOAが取り扱うイタリア産オリーブ苗木



フранトイオ

- 油用
- 油含有率 20~23%

トスカーナの代表品種。世界各地でも栽培されている。オイルはフルーティ(刺激あり)かつ良質。香りも高い。



レッチーノ

- 食用・油用
- 油含有率 17~22%

寒さ、風に強い。オイルはマイルドで、果実風味は少ないが爽やかな味わい。



タツジャスカ

- 食用・油用
- 油含有率 23~26%

潮風に強い。トスカーナ州の北西、リグーリア州原産。オイルはマイルド。塩水漬けも人気がある。



レッチョ・デル・コルノ

- 食用・油用
- 油含有率 19%

寒さ、病気、害虫、乾燥に強い。適応性が高い品種。オイルはややフルーティ(刺激あり)で良質。



ペンドリーノ

- 油用
- 油含有率 22~23%

花粉が多い受粉樹。オイルの風味は繊細で美味。樹形は開帳型。霜が降りたような外果皮が特徴。



マウリーノ

- 油用
- 油含有率 20~21%

花粉が多い受粉樹。干ばつ、低温に強い。典型的なトスカーナオイルを構成する品種。



コラティーナ

- 食用・油用
- 油含有率 21~26%

初結実までの年数が短い。イタリア南部のプーリア州原産。オイルはフルーティ(刺激あり)で、ポリフェノールが多い。



コレッジョーロ

- 食用・油用
- 油含有率 15~18%

初結実までの年数が短い。フранトイオと遺伝子が近い。中部イタリアで多く栽培。オイルはフルーティ(刺激あり)。

※油含有率はVIVAI PIETRO PACINI社(イタリア)資料による

第2回 土壌条件

土壌条件とは、植物の生育(根の張り、水・養分吸収)に影響を与える土の物理的、化学的、生物的な性質のこと。オリーブ栽培において気象条件と同程度に重要となる。

まず、通気性、排水性の良いことが必要で、重粘土質の土壌、水田跡地、地下水位の高い土地では極端な生育不良や枯死のリスクが高まる。

次に、作土(土壌最上部の根が伸長しやすい層)が厚いことが重要で、そのためには上記の通気性が良いことも必要となる。

それから、ある程度の保水力、保肥力があることが望ましい。保水力、保肥力が極端に小さい砂地では生育が悪く、頻繁な水や肥料の供給が必要となる。

オリーブ栽培に望ましい土壌条件は次のとおり。

【物理性】 通気性が良い: 根へ十分な酸素供給(オリーブでは特に重要) 排水性が良い: 余分な水が抜け根腐れを防ぐ 作土が厚い: 根張りが良くなり水・養分の吸収量が増大

保水性がある: 樹への水分供給を確保

【化学性】

酸度(pH): 6.0~7.0

保肥力=CEC (me/100g): 12以上

肥料濃度=EC (mS/cm): 0.4程度

【生物性】 豊富な土壌微生物(糸状菌、細菌など)が活発に有機物を分解して土の団粒化などを促進



▲水田跡地に植えたオリーブ樹。植樹後3年ほどは繁茂した(写真左)が、その後次々と枯死していった(右)。原因は水分過多による酸素不足での根腐れと考えられる

編集後記

地球温暖化に伴い、農作業の効率が悪くなるだけでなく、熱中症による死亡事故が相次ぐなど命に関わる状況となっています。オリーブを普及する組織として、皆さまに安全かつ効率的に実を生らせてもらう方法を考えてきました。その結論の一つが大鉢栽培

です。小規模にも適した方法です。ご自宅で手軽に栽培・収穫を楽しんで、自家製オリーブオイルを作ってみませんか。(Shin)



九州オリーブ通信 Vol.17 (2026年 5月1日発行)

発行者: 麓 信一

発行所: 一般社団法人九州オリーブ普及協会(KOA)

〒810-0044 福岡市中央区六本松2-13-5 イーエム六本松駅前4F

TEL: 092-738-9975 FAX: 092-738-9987

HP: <http://kyushu-olive.or.jp/> EMAIL: support@kyushu-olive.or.jp